

2014年度 日本文化人類学会 総会 議事録

日時：2014年5月18日（日）12：30～13：50

会場：幕張メッセ 国際会議場 201A

議長：中牧弘允 議事録確認者：浜田明範、吉田早悠里

1. 2013年度事業報告
 - ・棚橋訓第25期庶務担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
2. 2013年度会計報告
 - ・三尾裕子第25期会計担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
3. 第26回評議員選挙報告
 - ・栗田博之第26回選挙管理委員長より別紙の通り報告があり、承認された。
4. 第26期会長推薦
 - ・第26期評議員による会長候補者選挙の結果を受けて、小泉潤二第25期会長が関根康正会員を新会長に推薦し、満場一致により同氏が第26期会長に選任された。
5. 2014年度事業計画（案）
 - ・松村圭一郎庶務担当理事より、別紙に基づき説明があり、承認された。また、法人化検討委員会、「国際情報発信強化」特別委員会、学会賞検討委員会を新設したことが報告された。
6. 2014年度予算（案）
 - ・赤堀雅幸会計担当理事より別紙に基づき説明があり、承認された。なお、学会50周年記念事業準備金へ将来計画基金より500万円を計上することについて、本事業が将来計画基金を充てるのにふさわしい事業であると2013年度総会にて承認されていること、上記の額を将来計画基金から引き出した後も将来計画基金を運用可能なことから、今年度は500万円を最大限度として支出することが説明され、承認された。
 - ・学会50周年記念事業の経費について、2013年度は本会計より支出していることから、事後に事業全体の収支報告を作成し次年度総会で報告する必要があることが確認された。
 - ・小泉潤二学会50周年記念事業準備委員長より、学会50周年記念事業に係る2014年度4月末までの収支報告および今後の収支見込みが報告された。事業終了後は学会50周年事業準備委員会の財務小委員会にて会計をまとめ、学会会計理事と監事が確認し必要に応じて会計士による外部監査を行うことが確認された。
7. 第26期監事推薦
 - ・評議員会の提案を受け、加藤泰建、船曳建夫の両氏が第26期監事に選任された。
8. 名誉会員候補者の推薦について
 - ・評議員会の提案を受け、田辺繁治氏を名誉会員として推戴することが承認された。

9. その他

- 塚田誠之会員（国立民族学博物館）より、国立民族学博物館において、①共同研究会の公募を例年2月に行うこと、②特別共同利用研究員の公募をおこなっていること、③若手研究者奨励セミナーの公募を行っていること、④「みんなく映像民族誌」を制作し、研究・教育目的の視聴用として全国の大学や研究機関、国公立の図書館等に配付していること、希望者には貸出が可能であること等が報告された。
- 亀井伸孝第26期理事より、学会主催公開シンポジウム「大学で学ぶ文化人類学：フィールドワーク教育の試みと可能性」（2014年7月26日（土）於ウイंकあいち）が開催されることが報告され、高校、大学への広報協力依頼がなされた。
- 日本学術会議会員の山本真鳥会員（法政大）からの報告依頼を受け、松村庶務理事より、日本学術会議の地域研究委員会人類学分科会において「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準：文化人類学分野」を作成し、4月7日に公開シンポジウムを開催したこと、参照基準完成の折には日本学術会議のホームページに掲載されることが報告された。

以上